

CONNECT SERIES ハーフラックアンプは、1U 取付けが可能なスマートアンプで、業務用 AV システムの構築に最適です。

開梱後すぐに標準 AV ラックに直接取り付けることができ、ラックイヤーを 90 度回転させると、壁やテーブルといった取付面に設置することも可能です。

取付け前に、電源が 100-240VAC +/- 15% 50/60Hz を供給することを確認してください。

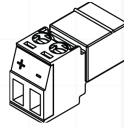
より詳細な製品マニュアルや仕様書は、以下の URL または右横の QR コードをスキャンし、ダウンロードしてください。

ダウンロード

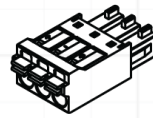


www.leaprofessional.com/downloads

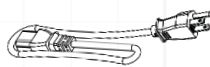
同梱品



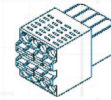
Amphenol Anytek 製
2 極出力端子 × 1 (出力チャンネルにつき端子 1 つ)
LEA Part #: CPP10008-1



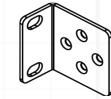
Amphenol Anytek 製
3 極入力端子 × 1 (出力チャンネルにつき端子 1 つ)
LEA Part #: CSP10006-1



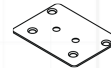
標準 IEC 電源コード × 1
LEA Part #: MOS10013-1



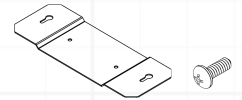
8 ピン I/O 入力端子 × 1
LEA Part #: CSP10004-1



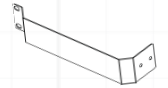
着脱式ラックイヤー × 2
LEA Part #: MFM1002-1



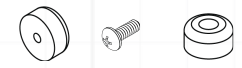
1/2 ラックプレート × 1
LEA Part #: MFM10034-1
皿ネジ [×4] MSI10002-1



壁面 / モニター裏用金具 × 1
LEA Part #: MFM10035-1
ナベネジ [×2] MSI10009-1



19" ラックマウント金具 × 1
LEA Part #: MFM10033-1



設置用フィート × 4
パンネジ [×4] MSI10011-1
LEA Part #: MOS10029-1

フロントパネル

ロゴ型 LED



緑に点灯
AC 電源に接続された場合
本体の電源が切れた場合
Remote での ON/OFF
GPIO ピン



青に点灯
AC 電源に接続
本体の電源が ON の場合



チャンネルステータス・インジケータ

チャンネルエラー - LED が赤色に点滅 (1 秒間隔) している場合、保護回路によりチャンネルがシャットダウンされています。
チャンネル過熱 - LED が赤と橙に交互に光っている場合、チャンネルが過熱状態またはそれに近い状態であることを示します。
チャンネルクリップ - 赤の LED は信号のクリッピングを示し、橙の LED はチャンネルにリミッターがかかっている状態を示します。
信号検出 - 緑の LED はチャンネルに -40 dB の信号が検出されていることを示します。
チャンネル使用可 - 白の LED はチャンネルがオーディオ信号を出力できる状態であることを示します。

その他の取付け方法に関するマニュアルは、下記の QR コードよりダウンロードしてください。

取付けオプション



アンプステータスインジケータやトラブルシューティングに関しては、以下の QR コードからマニュアルをダウンロードするか、音響特機までお問い合わせください。
lea-support@otk.co.jp

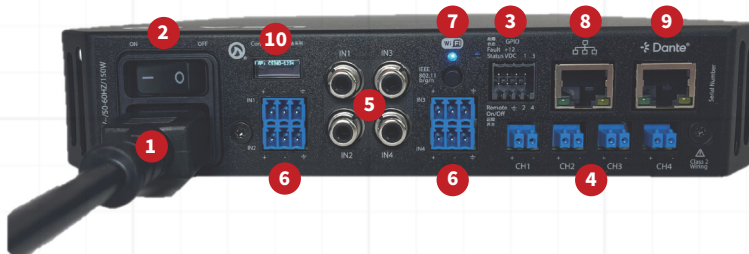
トレーニング動画



バックパネル

モデルごとの仕様書やバックパネルの詳細については、下記の QR コードからユーザーマニュアルをダウンロードしてください。

- IEC 端子
着脱式 IEC 端子用
100VAC-240VAC 50/60Hz
- 電源ボタン
ON/OFF スイッチ
O = OFF - = ON
- GPIO ポート
Remote ON/OFF と
Fault Status 付き
- チャンネル出力
2 極出力レセプタクル
最大 4 チャンネル
- RCA アンバランス入力
RCA 入力はアナログバランス
入力と並列接続されています。
- アナログバランス入力
3 極入力用レセプタクル
マイク / ラインレベル入力を
切り替えることができます。
- Wi-Fi アクセスポイント
ON/OFF 切り替えボタン
ステータス LED 付き
アクセスポイントモード = 青
Wi-fi モード = 緑
- FAST 10/100MB イーサネット
コントロール、モニタリング、
PoE 用 Cat5 / Cat6 入力端子
- Dante 入力
48 kHz Dante Networks
用 Dante 入力
- LCD ディスプレイ
ネットワークステータスを表
示します。



マニュアル



GPIO ポート

エラーステータス

クイックアンプエラーステータス用のアナログ接続です。5V 信号を伝送します。

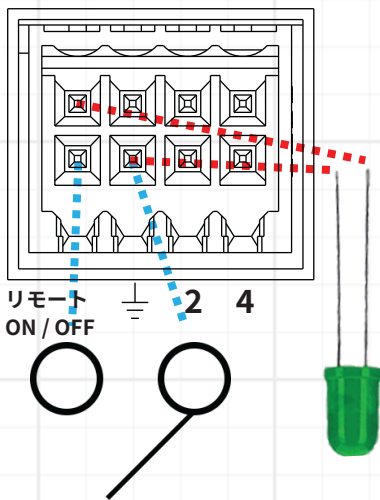
5V ON = エラーなし
5V OFF = エラーあり

リモート ON/OFF

スイッチまたは外部コンタクトクロージャーに直接配線し、簡単にアンプの ON/OFF 制御ができます。

OPEN = アンプ ON
CLOSED = アンプ OFF

エラー +12
ステータス VDC 1 3

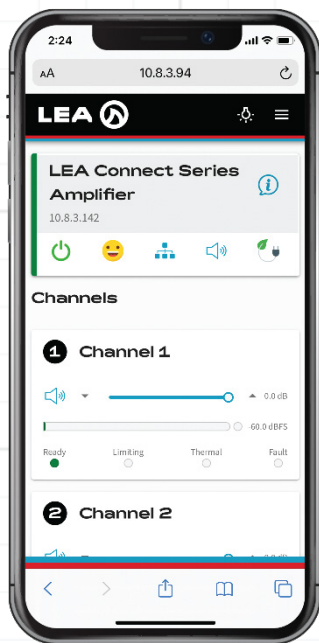


スマート パワーブリッジ

スマートパワーブリッジを使用すると、アンプチャンネルを犠牲にすることなく、ブリッジ出力チャンネルのメリットを得ることができます。LEA Connect Series アンプでは、任意の 1 チャンネルでスマートパワーブリッジを使用できます。例えば、4 チャンネルの Connect Series では、チャンネル 1 をスマートパワーブリッジモードに設定してそのチャンネルの出力を 2 倍にし、チャンネル 2 を 70V または 100V モード、チャンネル 3 および 4 を Low-Z モードで使用できます。

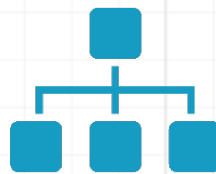
ネットワーク接続

ネットワークへの接続は、3 通りの方法で進めることができます。右の QR コードをスキャンし、チュートリアル動画を見ることができます。



アクセスポイントモード

1. アンプ背面の Wi-Fi ボタンを押します。
2. Wi-Fi ボタン上の LED が青に点灯します。アンプの作成したアクセスポイントをデバイス（モバイル、PC など）で探し、接続します。
3. アンプの IP アドレスをデバイス（モバイル、PC など）の Web ブラウザに入力します。



有線モード (イーサネット)

1. Cat5 / Cat6 ケーブルを使用して有線ネットワークに接続します。
2. デバイス（モバイル、PC など）を同一のネットワークに接続します。
3. アンプの IP アドレスをデバイス（モバイル、PC など）の Web ブラウザに入力します。



Wi-Fi モード

1. 左記アクセスポイントモードまたは有線モードの手順に従って設定を進めます。
2. “Network Settings” 上の “Wi-Fi Enabled” ボックスをチェックします。
3. Wi-Fi の SSID とパスワードを入力し、“Save” をクリックします。
4. 有線モードの手順で接続した場合、これで設定は完了です。アクセスポイントモードの場合、アンプ背面の Wi-Fi ボタンを押します。
5. アンプの IP アドレスをデバイス（モバイル、PC など）の Web ブラウザに入力します。

チュートリアル動画



クラウド接続

下記 URL にアクセスします。
www.leaprofessional.cloud

2. “Register New Account [新しいアカウントを登録する]” を選択し、ユーザー名とパスワードを設定します。
3. 画面に表示される手順に従い、Cloud Account にログインする。
4. 詳細情報については、右の QR コードをコードの URL にアクセスしてください。



アクセサリ



RCAF-2
RCA メス - Amphenol Anytek 製
3 ピン端子ケーブル
2 本セット



XLRF
XLR メス - Amphenol Anytek 製
3 ピン端子
1 本単位での販売

アクセサリ仕様



その他の情報

各種のより詳細な情報にアクセスするには、右の各 QR コードを読み取り URL にアクセスしてください。www.leaprofessional.com

マニュアル



最新ファームウェア



トレーニング動画



製品登録



ウェブサイト

